

令和五年十二月七日提出
質問第一〇二二号

北九州空港の機能強化及び利用促進に関する質問主意書

提出者
城井
崇

北九州空港の機能強化及び利用促進に関する質問主意書

北九州空港の機能強化及び利用促進に関して、以下質問する。

一 北九州空港は、二十四時間利用可能であることや、三千メートル滑走路への延長事業の早期供用へ向けた取り組みが行われていることから、航空貨物需要の増大等により新たな貨物便の就航需要が高まっている。北九州空港の物流拠点機能を向上させるため、貨物便の増便や新規路線の就航に備えた貨物機用エプロンの拡充整備など、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

二 北九州空港は、令和四年十月の政府の方針を受けて、地方空港における国際線の受入れを誘致し、令和四年五月にジンエアーの国際旅客定期便が再就航し、航空需要は回復する傾向にある。しかし、グラウンドハンドリング、保安検査、税関、検疫、出入国管理など、空港に関連する業務における人材が不足している状態にある。北九州空港の旅客受け入れ体制を強化するため、航空業界への支援や空港業務における人材の確保など、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

三 北九州空港は、令和六年四月より、新たに国内航空貨物輸送が運航する。国内の物流ネットワークを維持するため重要な役割を果たすことが期待されているが、円安や燃料費の高騰等の課題がある。北九州空港における、国内航空貨物輸送の事業開始時の創業期を下支えするため、貨物専用機を運航する国内航空貨物事業者への着陸料、航空機燃料税等の公租公課を軽減するなど、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

右質問する。